

みずほCustomer Desk Report 2024/12/25号(As of 2024/12/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	157.45 AUD/USD
TKY 9:00AM	157.17	1.0404	163.56	1.2532	0.6244
SYD-NY High	157.41	1.0410	163.60	1.2572	0.6249
SYD-NY Low	156.90	1.0384	163.06	1.2519	0.6226
NY 5:00 PM	157.00	1.0389	163.06	1.2550	0.6245
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,297.03	390.08	日本2年債	0.5800%	0.0000%
NASDAQ	20,031.13	266.24	日本10年債	1.0700%	0.0100%
S&P	6,040.04	65.97	米国2年債	4.3366%	▲0.0014%
日経平均	39,036.85	▲124.49	米国5年債	4.4372%	0.0020%
TOPIX	2,727.26	0.52	米国10年債	4.5897%	0.0022%
シカゴ日経先物	39,350.00	▲50.00	独10年債	2.3205%	▲0.0065%
ロンドンFT	8,136.99	34.27	英10年債	4.5940%	0.0510%
DAX	-	-	豪10年債	4.4490%	0.0330%
ハンセン指数	20,098.29	215.16	USDJPY 1M Vol	10.16%	▲0.01%
上海総合	3,393.53	42.27	USDJPY 3M Vol	10.90%	0.04%
NY金	2,635.50	7.30	USDJPY 6M Vol	10.77%	▲0.05%
WTI	70.10	0.86	USDJPY 1M 25RR	▲1.24%	Yen Call Over
CRB指数	293.77	2.56	EURJPY 3M Vol	11.04%	▲0.06%
ドルインデックス	108.26	0.22	EURJPY 6M Vol	10.95%	▲0.11%

【昨日の指標等】

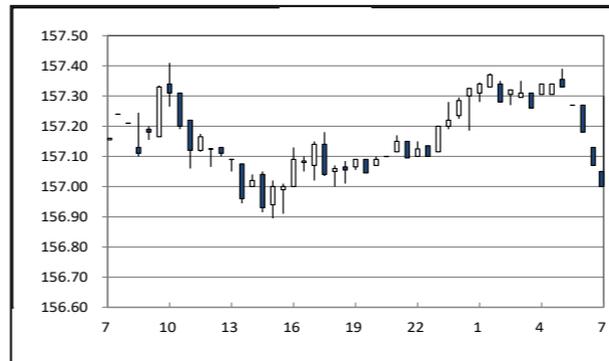
Date	Time	Event	結果	予想
------	------	-------	----	----

【本日の予定】

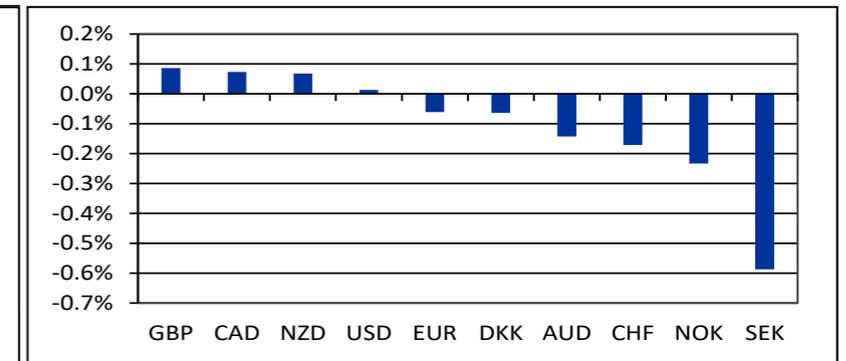
Date	Time	Event	予想	前回	
12月25日	14:00	日 景気一致指数・確報	10月	-	116.5
		日 植田日銀総裁 講演	-	-	-

東京	東京時間のドル円は、157.17レベルでオープン。新規材料も特段ない中、仲値前は買いが集まり157.41を付けた。売り戻された後は動意に欠ける展開が続き、157.00レベルで海外へと渡った。
ロンドン	ロンドン市場も動意薄となった。25、26日はクリスマス休暇となるため参加者少なく横ばい推移となり157.14レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は157円台前半でスタート。加藤財務相の円安牽制発言を受け、156.90まで下落する場面もあったが、円買いは長く続かず、その後157.14レベルでNYオープン。本日は特段注目の経済指標発表が予定されていない中、米長期金利の上昇を眺めながら買いが優勢となり、157.39まで小幅上昇する。午後はクリスマス休暇を明日に控え、157.00まで反落し、そのままクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.04台前半でスタート。クリスマス休暇を控え、市場参加者が少ない中、1.0390付近を中心とした動意乏し推移が続き、1.0390レベルでNYオープン。午前中は米長期金利の上昇が重しとなり、1.0384まで値を下げる。午後は1.04台ちょうど付近を中心とした推移が続き、1.0389レベルでクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	156.50-158.00	1.0300-1.0450	161.50-164.50

【マーケット・インプレッション】

日米政策イベントを経て中銀スタンスの差を考えればドルは買われ、円は売られるというコンセンサスが醸成された。ただ、トレーダー勢も休暇の中、本格的なポジションメイクは出づらいか。一方で、現状市場参加者の間で本邦為替介入への警戒感が高まっているとは言えないがその投資家のコンセンサスとは別に、先般の財務相からのけん制発言を受け、一定程度売りを出す輸出実需勢も散見される。本日は多くの海外市場が休場で流動性が極めて低い状況。上記の点や、昼過ぎに予定されている経団連での植田総裁講演などを見ながらの展開か。ただ、結局のところ明確な方向感のない相場となろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。